

令和2年度 第1回仙台市学校給食運営審議会会議録

- 1 日 時 令和2年10月28日(水)
午前11時00分開会
午後1時35分閉会
- 2 場 所 南吉成学校給食センター 2階 会議室
- 3 出席委員 丹野久美子副会長、岩崎奈緒子委員、岡崎博子委員
小野寺啓次委員、後藤景子委員、佐々木心委員
高橋綾子委員、針生真由美委員、南菌愛委員、目黒悟委員
- 4 事務局職員 今村総務企画部長、西崎健康教育課長、佐藤主幹兼給食事業係長
杉淵給食管理係長、鎌田給食事業係主査、千田南吉成学校給食センター所長
- 5 説明員 西崎健康教育課長、杉淵給食管理係長
- 6 定足数の確認 議事に先立ち、事務局より、本日の出席者が8名(遅れて参加の委員2名を含め、計10名が最終出席者数)であり、仙台市学校給食運営審議会条例第5条第2項の規定による定足数を満たしているため、本会議は成立している旨報告がなされた。
- 7 会長不在の報告 事務局から令和2年3月31日付にて会長が人事異動により辞任していることを報告し、仙台市学校給食運営審議会条例第4条第3項に基づき、今回の審議会の代表を丹野副会長とするための承諾を得た。
- 8 会議録の署名委員の指名
副会長 仙台市学校給食運営審議会実施要領第6条第1項の規定で、会議録の署名委員は、会長及び会長が指名する委員1名となっていることから、今回の署名委員について、小野寺啓次委員を指名する。
- 9 説明「南吉成学校給食センター施設紹介」
事務局 次第に移る前に委員の皆さまに報告がある。
本審議会は、例年7月頃に第1回目の審議会を開催し「来年度の学校給食費について」諮問させていただいている。しかしながら、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、上半期に会議を開催することが困難であり、第1回審議会の開催が本日となった。
委員の皆さまの改選時期が来月12日に迫る中、事務局としては、給食費の改定の答申をいただいた委員の皆さまに現状について報告させていただきたく、南吉成学校給食センターにて開催させていただいた。
今年度は、給食費が改定された直後の年度であるため、諮問の代わりとして、給食費改定後の現状について報告させていただきたいと考えている。

それでは、南吉成学校給食センターの施設紹介をさせていただく。
はじめに前方スクリーンにて映像をご覧いただき、見学者通路に移動して実際の調理場内の様子をご案内したい。
(ビデオ映写、続いて見学者通路に移動し調理場内の見学、説明)

(給食の試食)
副会長 ここで試食の時間とし、審議会は12時45分に再開とする。

10 議事「令和2年度の学校給食の現状について」

- 副会長 定刻となったので審議会を再開する。議事「令和2年度の学校給食の現状について」の資料の説明を事務局から願います。
- 事務局 (資料6頁から13頁に基づき説明)
- 副会長 委員の皆さまから意見や質問をいただく前に、私から資料についての質問だが、環境保全米を使用することにより、主食の単価が上がるということか。
- 事務局 同じ金額で対応する。
- 副会長 了解した。
- 委員 続いて、委員の皆さまから意見をいただきたい。普段、学校現場に携わる立場の委員の方々はいかがか。
- 委員 給食費改定後の給食においては、食材が豊かになったことや、肉や魚の切り身が大きくなったこと、栄養価の高い麦ごはんの回数が増えたこと、そして、昨年度の審議会でも議論した栄養強化食品のデザートが提供されていることなどを実感している。
- 委員 また、豆腐やハンバーグのソースに擦りゴマを加えるなどの工夫により、摂取栄養量の向上を図っていることも感じながら日々の給食を食べている。
- 委員 私の現場では、育児休業から職場復帰した職員が給食内容の変化に気づいたり、児童生徒が、これまで以上に毎日の給食を楽しみにしたりしている。献立内容や調理方法が工夫されていることも感じとることができ、私自身、給食の時間にその日の献立の説明をすることがあるが、地場産品の食材や世界の料理を紹介する機会が増えたので、児童生徒の食育にもつながっている。
- 委員 実際に今月の献立の一例を紹介すると、「山形の芋煮」と「仙台の芋煮」が二日間にかけて提供されたことがあり、児童生徒の中では、どちらが好みかなど話題が広がり、効果的に食に対する関心をもたせることができたのではないと思う。
- 委員 また、今年度は新型コロナウイルスの影響により、学校再開当初は段階的に給食を始めたことや、夏休み期間の給食対応、配膳下膳についての具体的な指示があり、児童生徒が混乱するのではと心配したが、大人以上にきばきと動き、現在は習慣化してきている。
- 委員 給食の献立作成等、栄養教諭等の方々方が努力されていることは理解できた。それぞれの家庭においても、日々の食事の献立を考えることは簡単ではないので、改めて感謝したい。
- 副会長 しかしながら、資料11頁に記載があるように、学校給食摂取基準を下回る栄養素があるので、そこを保護者の皆さまにご理解いただくことが重要となる。本日、実際に給食を試食し、ボリュームがあると感じることができた。現在提供している給食がどのようなものかを広く周知し、ご理解いただくという意味でも、年に1回開催している「学校給食フェア」を数回行うなどの対応が必要ではないか。食育の充実に関しては、地場産品の活用は大切なことなので今後も継続して提供してほしいが、摂取栄養量の改善についても、全ての栄養素が学校給食摂取基準を充足するためにどのような対策を考えているのか教えてほしい。
- 事務局 学校給食摂取基準を充足していない栄養素の対策と、学校給食についての理解を深める取り組みについて事務局から願います。
- 事務局 摂取栄養量の改善については、資料で使用しているデータは最新のものであるが、集計月は6月であり、新型コロナウイルスの影響で予定していた献立を変更するなどの対応をした月でもあるため、現状ではもう少し改善されていると認識している。次回のデータ集計は11月に行う予定となっており、摂取しにくい鉄分や食物繊維等を栄養強化食品に頼るだけでなく、使用する肉の部位を変更するといった工夫も行いながら、給食費の改定を効果的に活用し、今後の推移を見ていきたいと考えている。
- 事務局 学校給食を広く知っていただく機会に関しては、「学校給食フェア」は毎年1月に行われる「全国学校給食週間」を活用して行っているため、回数を増やすことに

- 委員 については、すぐに回答することが困難だが、できる限り保護者の皆さまや児童生徒にご理解いただけるような取り組みを広げていきたい。
- 委員 先ほどの施設見学の際に、給食センターの大型連休時の稼働状況について質問したところ、普段できない箇所の清掃が主であるとの回答だったが、連休等を利用して、地域の皆さまに給食を試食してもらおうなど、ご理解を深めていただく活動を検討してほしい。
- 副会長
事務局 現在、南吉成学校給食センターの見学はどの程度行われているのか。
今年度は新型コロナウイルスの影響により実施していないが、昨年度は7月に南吉成中学校の1年生の見学があった。午前中に給食を作っている様子を視察し、学校に戻って視察した給食を実際に食べるという内容である。2、3年生に対しては、給食センターの職員が学校を訪問して食育の授業を行った。
- 副会長
委員 基本的には、各学校からの試食会等の申込みに基づき、給食を学校に運び、試食していただき、職員が給食についての説明を行っている。昨年度は10校程度で対応し、PTAの方の試食会が多かった。また、要望によっては、給食センターで開催する場合もあり、適宜対応している。
- 副会長
委員 了解した。保護者の立場である委員の方はいかがか。
過去に給食を試食したときと本日の試食を比較すると、給食費の改定が反映されていることを実感でき嬉しく思うが、給食費が改定されるまでの審議会において、摂取栄養量の議論に長い時間を費やし、答申に至った経緯があるので、学校給食摂取基準を下回っている栄養素については、次回の摂取栄養量を集計する11月のデータで充足できていることを期待したい。新型コロナウイルスの影響や、給食を作る側の苦労もあることは理解できるが、摂取栄養量の改善に関しては、保護者として給食費の改定を納得できた理由の一つでもある。全ての栄養素で学校給食摂取基準を充足してほしい。
- 事務局 質問としては、宮城・秋保地区の給食費統一を含めて、保護者に対する給食費改定の周知は丁寧に行ってほしいと、前回の審議会で事務局をお願いをしていたため、どのように周知したのか伺いたい。
また、保護者からの給食費改定後の反応について、厳しいご意見等を受けていることがあれば教えてほしい。
- 副会長 給食費改定の周知については、各学校を通じて保護者向け通知文の配付を昨年度の12月と3月に行い、給食が再開した今年度6月においても改めて通知させていただいた。
厳しいご意見については、「新型コロナウイルスの影響で家庭事情が厳しいときに給食費を改定するのはいかがなものか」という電話をいただくこともあるが、丁寧に説明を申し上げ、納得いただいている。
- 副会長 給食費改定の審議を行っていた際には、現在のような新型コロナウイルスの状況を想像できなかったので、その影響を心配していたが、事務局で対応していることがわかり、安心した。
- 委員 次に給食を作っている立場の委員の方のご意見はいかがか。
今年度は、児童生徒が学校で給食を食べているときに新型コロナウイルスに感染しないための安全対策、健康管理を重点的に考えている。
また、昨年度3月に給食がストップした影響で食材の在庫を抱え、4月の再開に向けて献立作成や食材の発注等を行っていたが、4・5月も学校が臨時休校となったことで、さらに在庫を抱えたことがあり、6月はどうしても在庫整理と新型コロナウイルス感染予防に努める必要があった。
なお、6月は本来、人事異動後2ヶ月が経過している時期だが、今年度に関しては、6月が人事異動直後の実稼働であり、気温が例年よりも高いことも重なり、献立作成が難しく、給食費改定を十分に反映させた献立を作成ができなかったと感じている。
一方で、今年度は夏場の野菜の価格が大幅に上昇し、新型コロナウイルスの影響で夏休みが短い分、給食を提供する日が例年より多く、昨年度までの給食費であれ

ば、給食に使用する食材や献立自体を変更するなどの対応が必要だったと思われる。

また、昨年度の場合は、献立を作成する際に、食材にかかる費用を抑えることに時間を費やしていたが、今年度は地場産品の取り入れや行事食等を優先的に考えることができ、児童生徒の食育の充実につながっている。

その反面、今年度当初は品数が増えたことや食材のカットサイズが大きくなったことで、当初は食べ残しをしてしまうという課題もあったが、現在は児童生徒が学校生活に慣れてきており、新型コロナウイルス感染予防対策の配膳方法も定着し、暑さも落ち着いてきたということから食欲が戻ってきていると感じる。

副会長 摂取栄養量については、給食を作る側も努力し、徐々に向上させていきたい。
摂取栄養量を計算して献立を作成しても、残食があると計算した量の栄養素が摂取されないの、残食が減少するような献立作成が必要となる。次回の摂取栄養量を算出する11月のデータをもとに、審議会においても改めて審議していきたい。

委員 他に意見がなければ、議事については以上とするがよろしいか。
(異議なし)

11 その他

副会長 その他について、委員の皆さまから何かあるか。
委員 (意見なし)

副会長 事務局はいかがか。

事務局 次回の審議会は、来年の1月下旬に開催を予定しているが、来月12日に委員の改選があり、引き続き委員を務めていただく方や今回で任期が終了する方もいらっしゃる。現在の委員の皆さまには、平成30年度から学校給食費の改定について審議、答申をいただき感謝申し上げます。事務局としても、今後の課題を一つ一つ解決していきたいと考えているので、今後ともご指導よろしくお願ひしいたい。

以上

令和2年11月24日

署名委員 仙台市学校給食運営審議会副会長

丹野久美子

仙台市学校給食運営審議会委員

小野啓次